

## 障害者も、子育て中も楽しめる館に

21席の小さなホール。座席のジャックにイヤホン差し込むと「白い壁に展示されたモノクロ写真。寄り添う男女……」と銀幕に映ったシーンを解説する音声流れた。東京都北区の「シネマ・チュプキ・タバタ」は、どんな人も一緒に映画を楽しむことをコンセプトにした「ユニバーサルシアター」。支配人として「障害のある人、子育て中の人に対応した映画館は少ない。誰でも受け入れる映画館を目指しています」と語る。

Stand by you!



そばにいるよ

映画館支配人 和田 浩章さん(29)

視覚障害者の音声ガイド、聴覚障害者用の字幕を、邦画も含め上映する全作品に付けている。ガイドや字幕は自前で作ることも多い。抱きしめて振動で「音」を感じるスピーカー写真や、赤ちゃんが泣いても気兼ねなく鑑賞できる防音の親子室なども備える。

映画の仕事に携わるとを夢見ていた6年前、ボランティアとしてバリアフリーの映画イベントに参加した。客席でじっとしている全盲の高齢男性。「眠っているのかな」と思ったが、しばらくすると男性のおえつが漏れてきて驚いた。「映画は見て楽しむもの」というのは思い込みだった。「心で楽しめるんだ」

【原田啓之】



2019年2月6日